

突撃! 「極意」伝承道場!!

外垣 秀毅先生 (南木曾町立南木曾中学校)

若い先生方が体育科の指導について、外垣イズムを学ぶ!!

～魅力的な教師になるために～

保健体育・授業づくり



12月15日(木)に大桑中学校で行われた外垣秀毅先生の「極意」伝承道場に参加させていただきました。この日は、まず、受講者の末木幸司郎先生に体育の「アルティメット(球技:ゴール型)」の授業をしていただきました。アルティメットは末木先生が教材化した種目で、フリスビーに似たディスクを投げ、味方がエンドゾーンでキャッチすれば得点になるという競技です。ディスクを持たない人の動き、オーバーラップしてパスを受け取るなど、チームで作戦を立てて取り組んでいました。

授業参観後に外垣先生の道場が行われました。受講者は授業参観の感想として、生徒のつぶやきや行動から、アルティメットのよさや生徒の取組のすばらしい点などを話題にしていました。

指導者の外垣先生からは、チームプレーのよさを引き出すために、自分が身に付けることを明確にし、一人一人が生きる、活躍できる体育の授業について話をいただきました。また、試合をしていると自分たちのことが見えない部分があるので、自分たちの試合を外から見ていて分析する人たち(姉妹チーム)を作っておくとよいという助言もいただきました。話し合いが苦手な子どもたちへの対応としては、授業で話し合いのシステムを作り、4月からずっとやってくることが大切だと教えていただきました。

今回は最終の道場だったので外垣先生が「保健体育の教員としてこだわってきたこと」

をお話しいただきました。若い先生方が教科の指導だけでなく、魅力的な教師になってく

うえでも貴重なお話しでした。

外垣先生は、「子どもが憧れるスポーツマンでいよう」と受講者の先生方にエールを送っています。外垣先生の道場は、「運動が苦手な子も得意な子も、体育の授業が楽しみになる教材開発と授業展開を考える」道場でした。ご指導と受講者の取組や意見交換を通して若い先生方が大いに学びと交流を深めている学ぶ機会となった道場でした。

受講者の感想から

○極意伝承道場を通して、多くの事を学ばせていただきました。中でも、活動をしながらか子ども達に思考させる方法は、自分の体育でも活用させていただきました。教師の出るタイミング、子ども達が思考したくなるような活動、個別最適化された教材など、極意伝承道場に参加しなかったら分からないまま教員生活を終えていたかもしれません。極意伝承道場を通じて、1年前の私と今の私では体育の考え方が大きく変わりました。

○私は教員3年目で教科主任2年目になります。私の願いとして先輩教員の授業を見学したいという願いがずっとありました。そんな中、木曾郡の中で「極意」伝承道場を受講する機会をいただき、とても感謝しています。ありがとうございました。よかったこと、学んだことということで、外垣先生の授業をみてきた中で、ベテランならではの「極意」があり、とても勉強になりました。

○研究授業とは異なり、各単元を学ぶことができました。さらには、授業の型というものを肌で感じ生徒とともに授業を受けているような感覚で研修ができました。指導者の先生が持つ思想や考えに触れることができ、自身のなかの考えや視点が広がりました。また、自身の授業を公開する機会を設けていただいたことで、自分の授業をさらに見つめ直し、助言をもらい成長することができました。

